



多文化共生としての

舞臺芸術

第2回

戯曲の読み方

講師 杉山剛志 (すぎやまつよし) (演出家、国立ベトナム青年劇場 芸術監督)

戯曲を手にした時、演出家や俳優にはそれ以外の人たちとは異なる読み方があります。それは演出家はその場面で何が起きているのかを理解したり、俳優が役の人物を演じる為に必要な具体的な要素を戯曲から読み解くことを助けてくれます。本セミナーでは「俳優の芸術性とは何か」についてや、「生きる演技を生み出す為には戯曲の何に焦点を合わせ、どんなアプローチの仕方が役に立つのか」についてチーフホフの『桜の園』の一幕の冒頭場面を使って解説します。

戯曲が苦手な方や、演技に直結する戯曲の読み解き方を知りたい方、創造の可能性をもう一歩先に広げたい演出家の方はぜひ奮ってご参加ください。

※なお、このセミナーはリレー講義「世界文学に触れる」と合同で行われます。



Profile

杉山 剛志

演出家・国立ベトナム青年劇場 芸術監督、パリ・コンセルヴァトワールの教授から体系的な俳優教育を5年間受け、その後、ロシア国立モスクワモスクワの芸術副監督演出家ユーリー・エリョーミン氏に師事。演劇の本場モスクワで演出を学ぶ。国内公演の他、海外フェスティバルへの招聘多数。ステーリノ・ボソリエ国際演劇祭で入賞(セルビア 2015)。ベトナム国際演劇祭で最優秀演出家賞、最優秀作品賞を受賞(2016)。ベトナム国立劇場で演出をした作品は国立劇場のレパートリーとして現在も上演され続けている。ベトナム国際演劇祭で最優秀作品賞を受賞(2019)。テアトロ演劇賞正賞を受賞(2020)。2021年に国立ベトナム青年劇場の芸術監督に就任。

2021年5月20日(木)17:40~19:10

Zoomウェビナーでのオンライン開催

- 使用言語: 日本語
- 参加費: 無料
- 事前申し込みが必要です。(本学学生優先。先着受付順)
- 参加ご希望の方は、5月19日(水)17:00(日本時間)までに、右の二次元バーコードを読み取り、参加登録フォームより事前登録をお願いいたします。
- ホームページからも登録できます。



http://www.tufs.ac.jp/event/2021/210427_1.html

● 問い合わせ先: nukyoko@tufs.ac.jp (沼野恭子)

予告 多文化教育プロジェクト 連続セミナー

- 第3回「演出」江原早哉香(演劇集団「風」演出担当)
- 第4回「字幕」未定
- 第5回「ミュージカル」高橋知伽江(脚本家、翻訳家)
- 第6回「舞踊」永田宜子(新国立劇場 前研修主管参事(元舞踊チーフプロデューサー))
- 第7回「日本の古典演劇」
- 第8回「日本の現代演劇」内野儀(学習院女子大学教授、アメリカ演劇・日本現代演劇)

主催: 総合文化研究所 / 共催: 語劇支援室